

「対面」と「オンライン」による

教育実践研究発表会

1 年次院生は, 研究課題について経過報告し, 2 年次院生は, 研究課題解決のための最終報告をします。

日時 令和6年 **2月13日（火）** **参加費無料**

会 場 青森県総合学校教育センター及びオンライン会場



次第

- 1 1 年次院生年次報告会 (10:00～11:36)
【第1会場】2 階中研修室【第2会場】2 階第4・5 研修室
【第3会場】3 階CAD・CG 研修室【第4会場】3 階産業教育研修室
- 2 研究報告及び進学説明会 (12:30～13:10)
(1) 研究報告
【第1会場】2 階中研修室【第3会場】3 階CAD・CG 研修室
【第4会場】3 階産業教育研修室
(2) 進学説明会 (対面のみ)
【第2会場】2 階第4・5 研修室
- 3 2 年次院生最終報告会 (13:30～16:22)
【第1会場】2 階中研修室【第2会場】2 階第4・5 研修室
【第3会場】3 階CAD・CG 研修室【第4会場】3 階産業教育研修室
- 4 全体会 (閉会行事) (16:35～16:50)
【第1会場】2 階中研修室【第2会場】2 階第4・5 研修室
【第3会場】3 階CAD・CG 研修室【第4会場】3 階産業教育研修室

*昼食は、センター内の食堂を利用することもできます。

主 催 弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻〔教職大学院〕

共 催 青森県教育委員会

問い合わせ 弘前大学〔教職大学院〕入試フォローアップ部会 天坂 文隆

Tel : 0172-39-3410 Email: ften1458@hirosaki-u.ac.jp

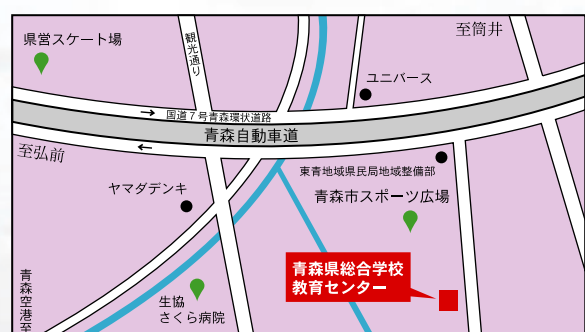
青森県総合学校教育センター

〒030-0123 青森市大矢沢字野田80-2

電話 017-764-1997

青森駅より青森市営バス

(4番乗り場, 学校教育センター行き,
7:34, 8:32, 11:44, 12:54発) で約30分



令和5年度 教育実践研究発表会開催要項

1 日 程

9:30～10:00	10:00～11:36	11:40～12:30	12:30～13:10	13:30～16:22	16:35～16:50
受 付	1年次院生 年次報告会	昼食・休憩	研究報告会 進学説明会	2年次院生 最終報告会	全体会

2 発表会次第

- (1) 受 付 9:30～10:00 (青森県総合学校教育センター1階玄関ロビー)

※オンラインで参加される方は、9:40以降に、発表会場へご入場後、ブレイクアウトルームにて希望発表会場を選択してご入場ください。

- (2) 1年次院生年次報告会 (*参加者は、移動して各コース・各室での院生の報告聴取が可能)
【報告各12分、質疑応答3分、準備3分、講評20分】

学校教育実践コース・教科領域実践コース・特別支援教育実践コース

順	時間	会場	【第1会場】 2階中研修室	【第2会場】 2階第4・5研修室
1	10:00～10:15		安田 和未 (小)	瀧本 誠博 (中社)
2	10:18～10:33		佐藤 大智 (特)	成田 秀斗 (中保)
	10:33～10:43		休 憩	
3	10:43～10:58		藤田 桃 (養中)	金谷 理利果 (中家)
4	11:01～11:16		市川 幸亮 (高数)	※3人終了時点で、講評をお願いします。
講評	11:16～11:36		教職大学院教員 村元 治	弘前市立第四中学校 石田 盛彦 校長

ミドルリーダー養成コース

順	時間	会場	【第3会場】 3階CAD・CG研修室	【第4会場】 3階産業教育研修室
1	10:00～10:15		葛西 良城 (高)	奈良岡 幸輔 (小)
2	10:18～10:33		原 文子 (特)	舘田 智久子 (高)
	10:33～10:43		休 憩	
3	10:43～10:58		増渕 健 (小)	舘山 収平 (中)
4	11:01～11:16		安達 大樹 (中)	村井 千絵美 (中)
講評	11:16～11:36		教職大学院教員 藤江 玲子	五所川原市立五所川原第二中学校 小野 強幸 校長

- (3) 昼 食 ・ 休 憩 11:40～12:30

- (4) 研究報告及び進学説明会 12:30～13:10

・研究報告〔【第1会場】2階中研修室【第3会場】3階CAD・CG研修室
【第4会場】3階産業教育研修室をオンラインでつなぐ。〕

- 1) 福島 裕敏 教育学研究科長 挨拶
- 2) 風張 知子 県教育委員会教育長 御挨拶
- 3) 研究報告 吉田 美穂 (プロジェクトチーム・チームリーダー)

・進学説明会〔【第2会場】2階第4・5研修室〕(対面のみ)

※学部生は最初から第4・5研修室へ。 1)2)が終了後、進学説明会。

- (5) 2年次院生最終報告会 (*参加者は、移動して各コース・各室での院生の報告聴取が可能)
【報告各20分、質疑応答7分、準備3分、講評20分】

学校教育実践コース・教科領域実践コース

順	時間	会場	【第1会場】 2階中研修室	【第2会場】 2階第4・5研修室
1	13:30～13:57		高田 真那 (小国)	藤田 晟雅 (小算)
2	14:00～14:27		鳥元 帆乃佳 (養中)	佐藤 陽奈子 (小英)
	14:27～14:35		休 憩	
3	14:35～15:02		瓜生 太知 (中理)	新田 ひかり (中国)
4	15:05～15:32		土田 康裕 (中理)	古川 冬真 (中保)
5	15:35～16:02		板垣 侑磨 (高保)	中村 由惟 (小英)
講評	16:02～16:22		教職大学院教員 柴崎 剛吉	弘前市立朝陽小学校 山本 正弘 校長

ミドルリーダー養成コース

順	時間	会場	【第3会場】 3階CAD・CG研修室	【第4会場】 3階産業教育研修室
1	13:30～13:57		大池 由紀子 (中)	寺山 陽子 (中)
2	14:00～14:27		佐藤 大記 (特)	工藤 渉太 (中)
	14:27～14:35		休 憩	
3	14:35～15:02		安保 愛子 (小)	雪田 聡 (高)
4	15:05～15:32		柏崎 康司 (中)	葛西 史生 (高)
講評	15:32～15:52		教職大学院教員 桐村 豪文	青森県立弘前高等学校 古川 浩樹 校長

(6) 全体会 16:35～16:50 (各研修室をオンラインで繋ぐ)

- 1) 謝辞 ・鳥元 帆乃佳 2年次院生(学校教育実践・教科領域実践コース) 代表
・葛西 史生 2年次院生(ミドルリーダー養成コース) 代表
- 2) 挨拶 中野 博之 弘前大学教職大学院専攻長

3 院生研究テーマ(発表順)

◆1年次院生(学校教育実践・教科領域実践・特別支援教育実践コース)

- 【1】①安田 和未…小学校外国語における全員参加を目指した授業づくり ～ゲーム活動を用いることの効果について～
②佐藤 大智…知的障害教育におけるキャリア発達を促すための授業デザイン
～「なりたい自分」への気付きを対話を通し“表現”する授業～
③藤田 桃…生徒が心身の状態と向き合うための養護実践 ～問診カードを用いた養護教諭の関わり～
④市川 幸亮…高等学校数学科における定理を重んじる授業実践 ～ICT活用の観点から～
- 【2】①瀧本 誠博…中学校社会科歴史教育における地域史を活かしたカリキュラム開発
②成田 秀斗…「健康リテラシー」の向上に向けた保健の授業改善の試み ～「真正の評価」に着目して～
③金谷理利果…中学校家庭科の「金銭の管理」に関する授業実践と学校行事を架橋したカリキュラムの開発・実践
～変化の激しい社会に主体的に対応するために～

◆1年次院生(ミドルリーダー養成コース)

- 【3】①葛西 良城…高等学校国語科における自立した学習者を育てる授業実践の検討
～認知・メタ認知システムの往還を通して～
②原 文子…子どもたちがともに学び合う活動の充実に向けて ～学び方の多様性に着目して～
③増渕 健…児童のSNSにかかわるセルフコントロールの向上を目指す指導・支援の在り方
～児童のSNS依存状態への予防的教育と受容的な支援としての教育相談を行うことを通して～
④安達 大樹…プロアクティブな生徒指導環境構築のための実践研究について
～子どもたちのための協働的で『魅力ある学校づくり』による不登校予防について～
- 【4】①奈良岡幸輔…主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教師の授業観の転換を目指して
～ICTの活用意識の変容とICT活用指導力の向上のための方策を通して～
②館田智久子…主体的・対話的進路指導の実践 ～生徒が自ら考え決定し表現することを支援する～
③館山 収平…校内研修を手がかりとした「共創」に関する一考察 ～「対話」「協働」「学び合い」をキーワードに～
④村井千絵美…通常学級において特別な教育的支援を要する生徒へのアプローチ ～授業UDの視点から～

◆2年次院生(学校教育実践・教科領域実践コース)

- 【1】①高田 真那…授業のユニバーサルデザインを通して、「参加する」から「理解できる」小学校国語科授業づくり
②鳥元帆乃佳…子どもの権利の観点から援助要請への意欲を高める指導のあり方
～中学校における保健室前廊下の掲示物を活用して～
③瓜生 太知…生徒の興味・関心を向上させる理科授業 ～日常生活と関わる課題を用いることの効果について～
④土田 康裕…素朴概念を科学的概念に変容させるための授業づくり
⑤板垣 侑磨…運動嫌いを減らす授業づくり
- 【2】①藤田 晟雅…すべての児童が参加し、学びの楽しさを実感できる算数科の授業を目指して
～授業UDの視点を中心に～
②佐藤陽奈子…児童の動機づけを高めるCLIL実践 ～自己決定理論を援用した言語活動を通じて～
③新田ひかり…三角ロジックを活用した国語科授業実践 ～根拠のある考えの形成を目指して～
④古川 冬真…中学校体育授業における運動習慣の獲得を目指した授業づくり
～一過性運動に伴う快感情に着目して～
⑤中村 由惟…小学校外国語における児童の自由な発話を促進する Small Talk の継続的実践と総括的評価

◆2年次院生(ミドルリーダー養成コース)

- 【3】①大池由紀子…小規模の小中一貫校における教師の協働的な授業デザイン
～校種を超えた異学年交流を取り入れた授業実践を通して～
②佐藤 大記…病弱教育における児童生徒の自己肯定感を高めるための支援方法と教員の体制に関する研究
③安保 愛子…小学校中学年におけるケア的思考の醸成を基盤とする自治能力の向上
④柏崎 康司…よりよい学校生活に向けた行動変容 ～多元的な非認知能力獲得のための介入～
- 【4】①寺山 陽子…自ら学ぶ意欲を引き出す「一人ひとりに学びがある授業」づくり
～少人数制で行う校内研修を通して～
②工藤 渉太…1人1台端末に対する教師の意識変容 ～教育活動全体での活用を通して～
③雪田 聡…高校数学における学力の類型化とそれに基づく指導と評価のあり方に関する検討
④葛西 史生…生徒の自学自習を促す教師の関わりについての考察
～個人内評価と自己評価のあり方に焦点を合わせて～

参加申込方法

1 参加申込について

日頃から、本教職大学院の活動に御理解・御協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

「教育実践研究発表会」は、「対面式」と「Zoom によるオンライン方式」を併用する形で実施いたします。

参加申込みにつきましては、下記のURLもしくはQRコードにより行っていただきますようお願いいたします。

お申し込みいただきました方々には、「対面」、「オンライン」にかかわらず、当日の会場のURLをお送りいたします。万が一、感染症等拡大により「オンライン」のみの開催になった場合は、お送りしましたURLにて御参加いただくことが可能です。（開催方法が変更になった場合は、教職大学院HPでお知らせするとともに、お申し込みいただいた方々にメールにてお知らせいたします。）

※お申し込みいただいていない方でも、当日、青森県総合学校教育センターにおいていただきますと、参加可能です。その際は、弘前大学教職大学院のHPで、開催方法に変更が無いことを御確認の上、御来場くださるようお願いいたします。

2 参加申込方法

(1) 右記QRコードもしくは、下記のURLから申込みフォームにアクセスし、必要事項を入力してお申し込みください。

■「教育実践研究発表会」参加申込みフォームのURL

<https://forms.office.com/r/QhDWfF5mZm>

■弘前大学教職大学院のHPのURL

<https://www.edu.hirosaki-u.ac.jp/gs/pdotteachers.html>

※トップページ左下の「教育実践研究発表会」の「申込みフォーム」をクリックしてください。

(2) 申込み期間

令和5年12月20日（水）～令和6年2月7日（水）

3 Zoom によるオンライン参加の方々へのお願い

お申し込みをいただきました方々に、令和6年2月になりましたら、順次御入場のためのURLをお送りいたします。一旦、御入場いただきました後、ブレイクアウトルームにて、御希望会場を選択し御入場いただけるようになっております。また、当日は、紙媒体での報告書の配布はいたしません。報告書ダウンロード用のURLをお送りいたしますので、タブレット等にダウンロードもしくは必要箇所をプリントアウトいただきますよう、お願いいたします。

【お願い】

- ①御入場の際、マイクはオフの状態をお願いいたします。また、同じ室内でPC2台以上使用され、オーディオ接続の状態になっていますとハウリングが起こりますので御注意ください。
- ②各会場を録画させていただいている関係上、録画の許可を求める表示がされますが、許可されませんとその後の御入場ができなくなりますので御注意ください。

令和5年度
弘前大学教職大学院
教育実践研究発表会
参加申込みフォーム

